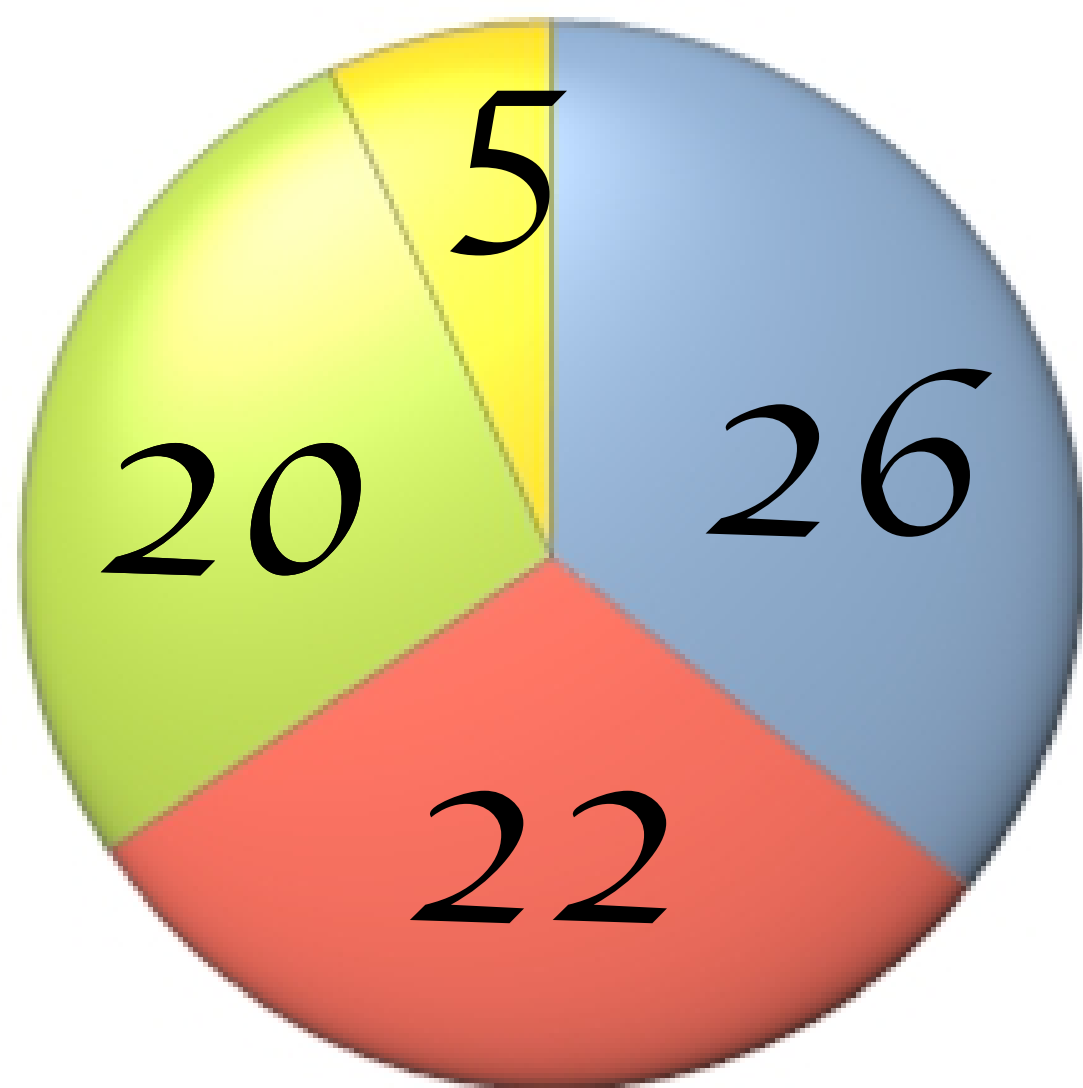


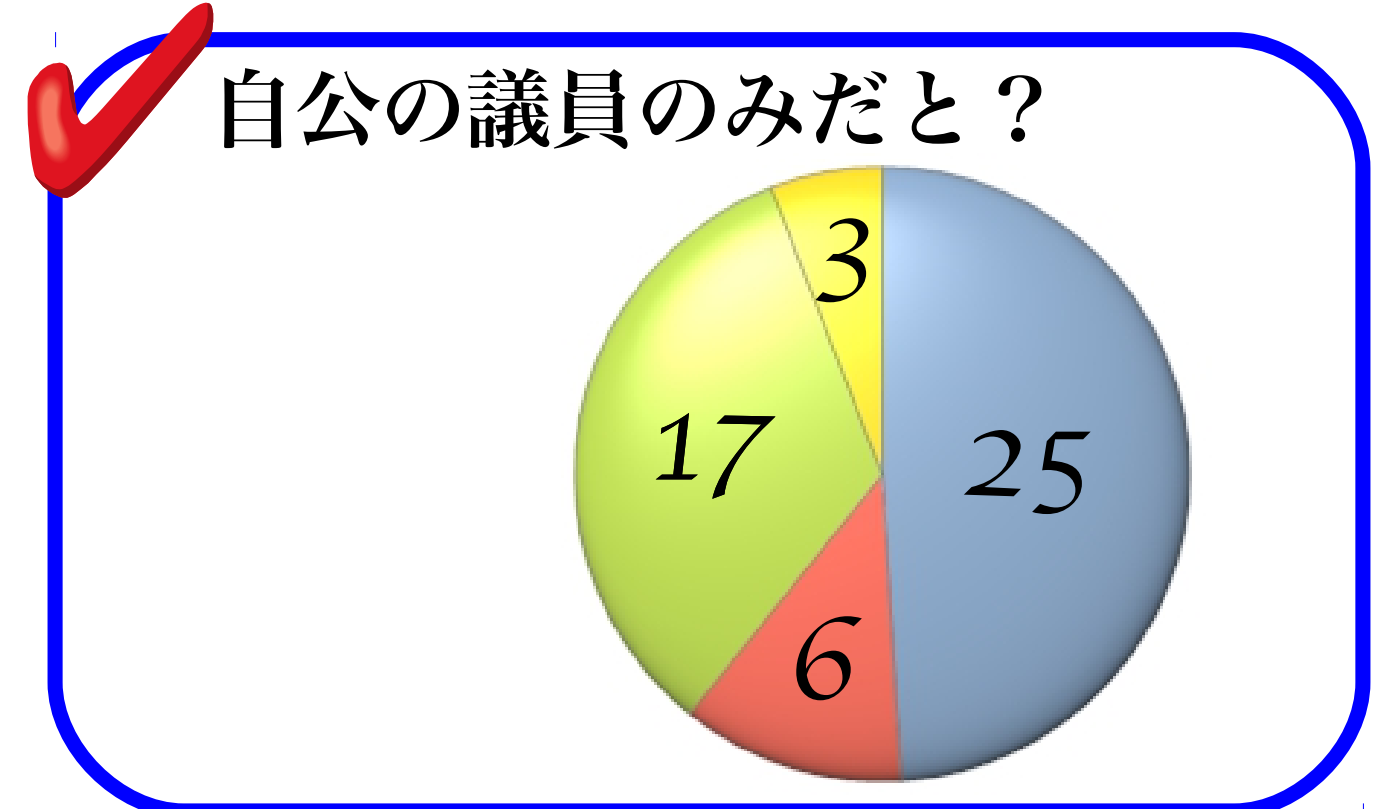
2013参院選当選(選挙区)の方々の考えまとめ

朝日新聞社、毎日新聞社が2013参院選前に立候補者へおこなったアンケートから原発についての部分を抜き出し、当選者のみで集計を取るとこうなりました

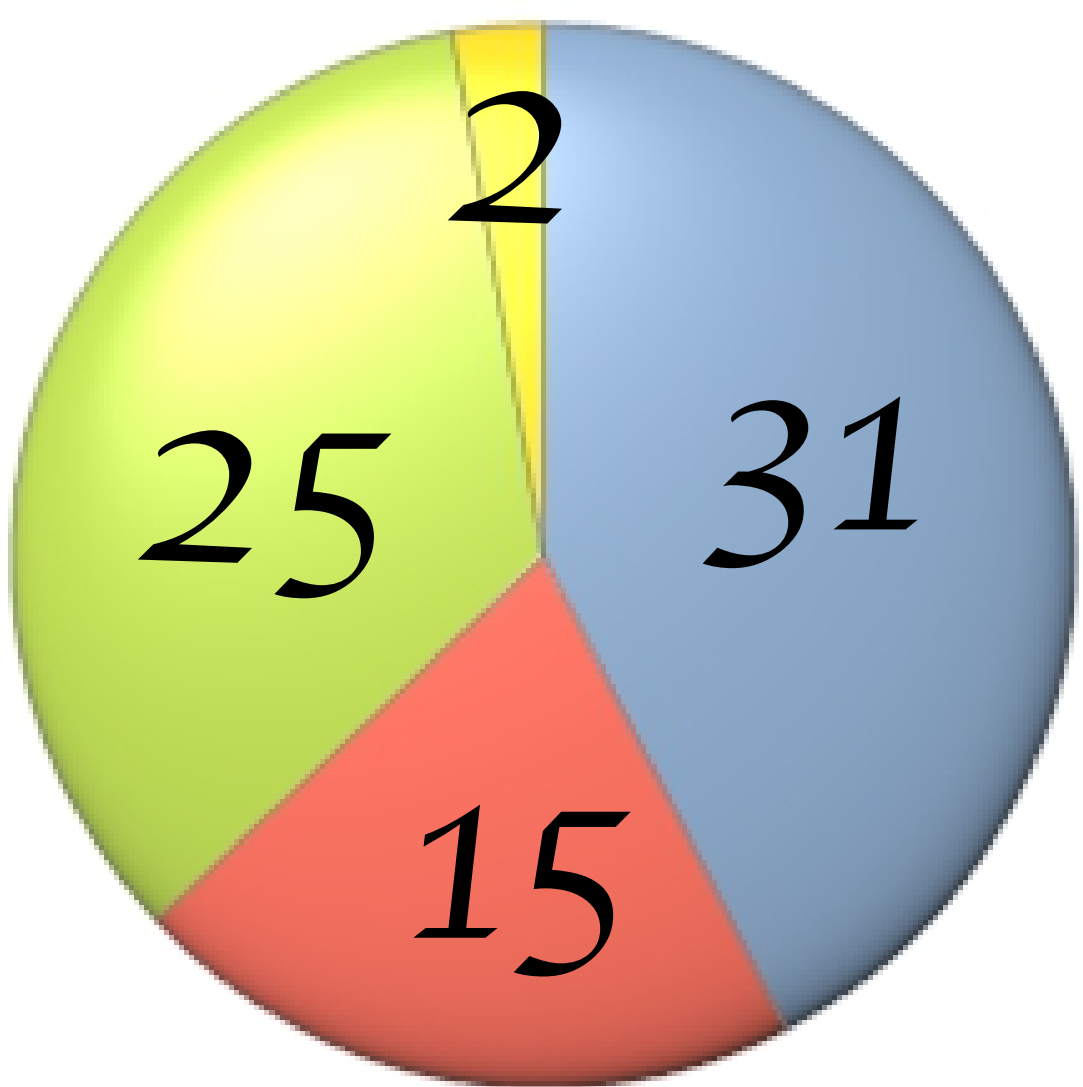
原発ゼロ (朝日新聞社)



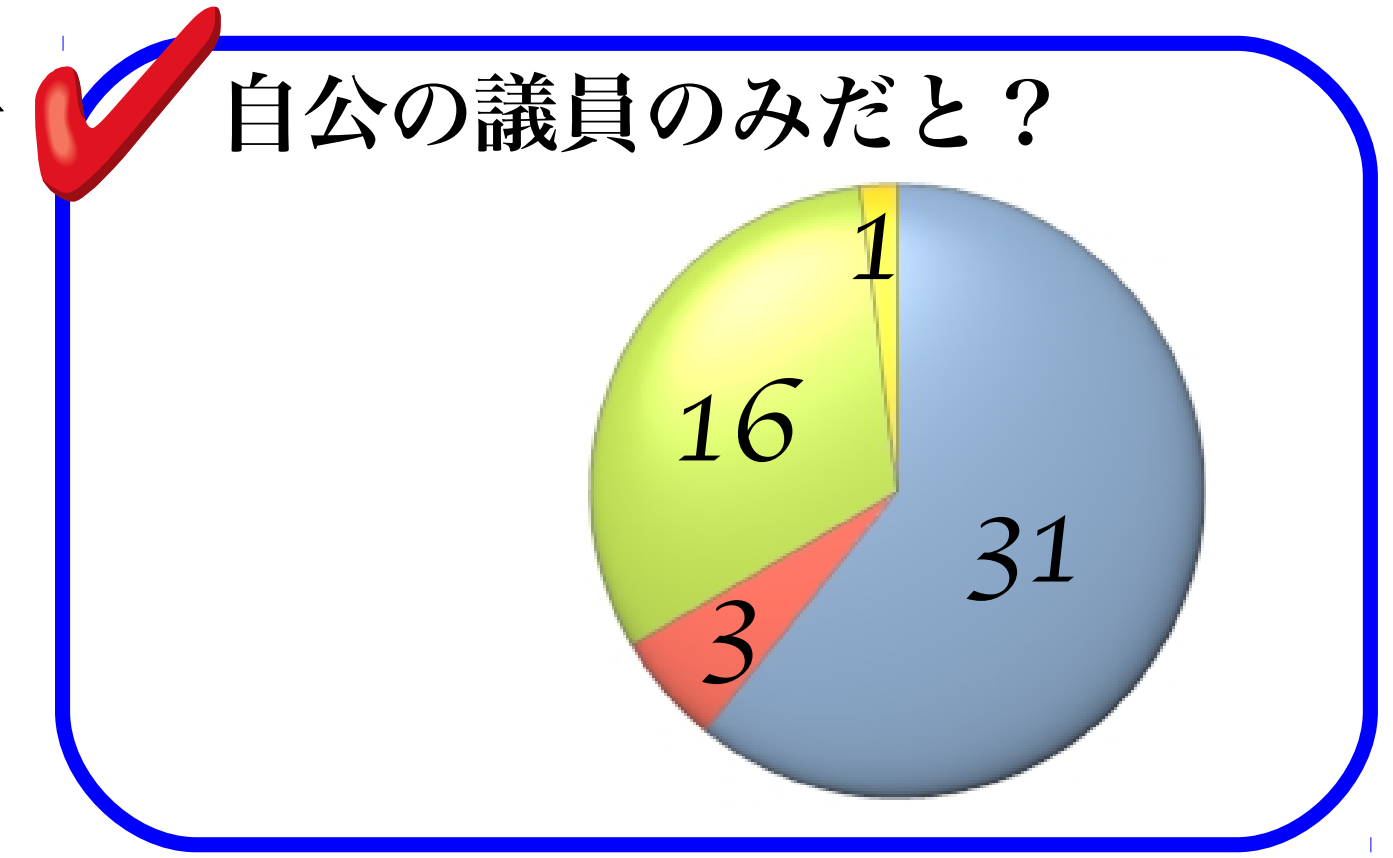
- 「2030年代より後も原発は動力源のひとつとして保つべきだ」に近い・どちらかといえば近い
- 「電力に占める原発の比率を2030年代までに0%にすべきだ」に近い・どちらかといえば近い
- どちらでもない
- 無回答・その他



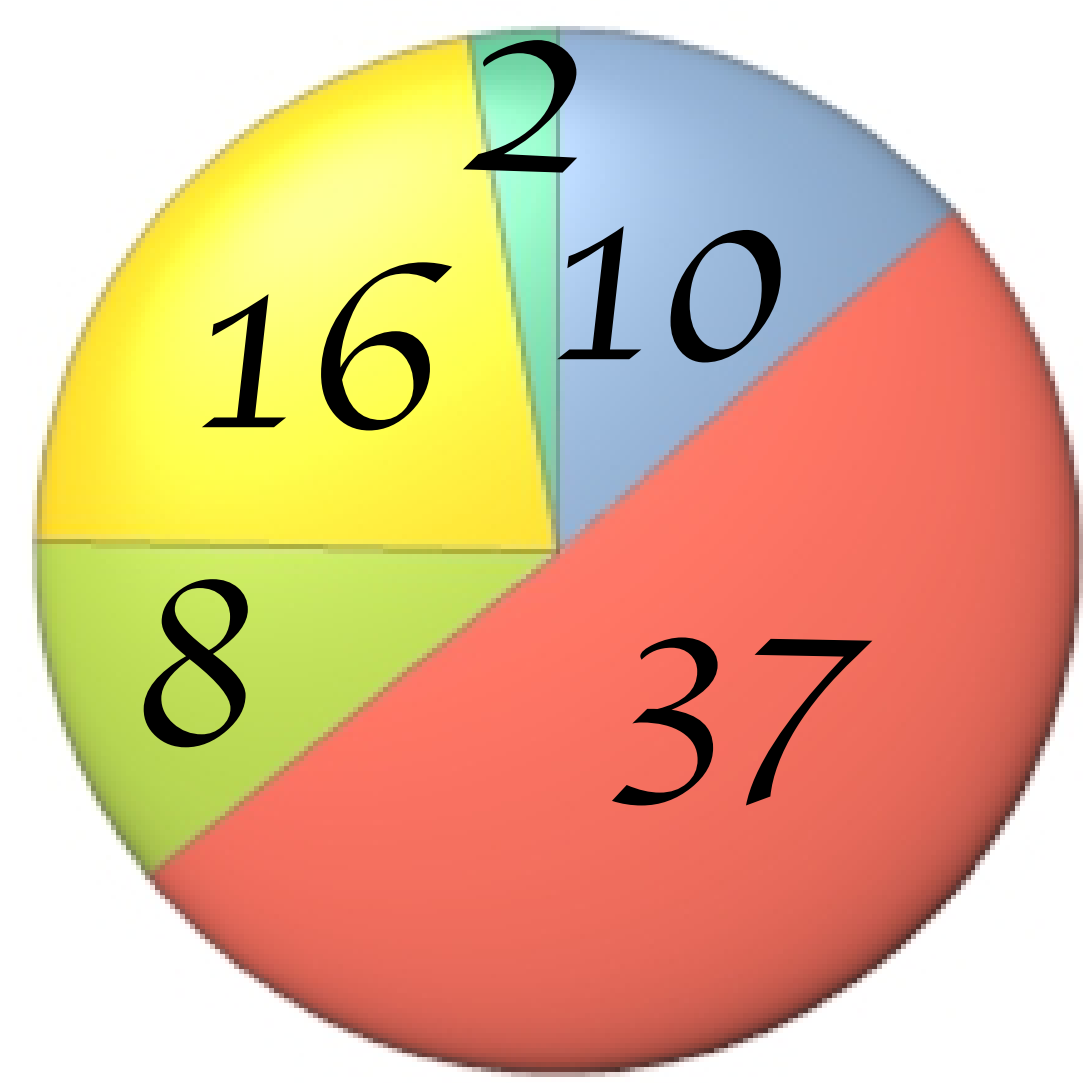
定期検査で停止中の原子力発電所の運転再開はやむをえない (朝日新聞社)



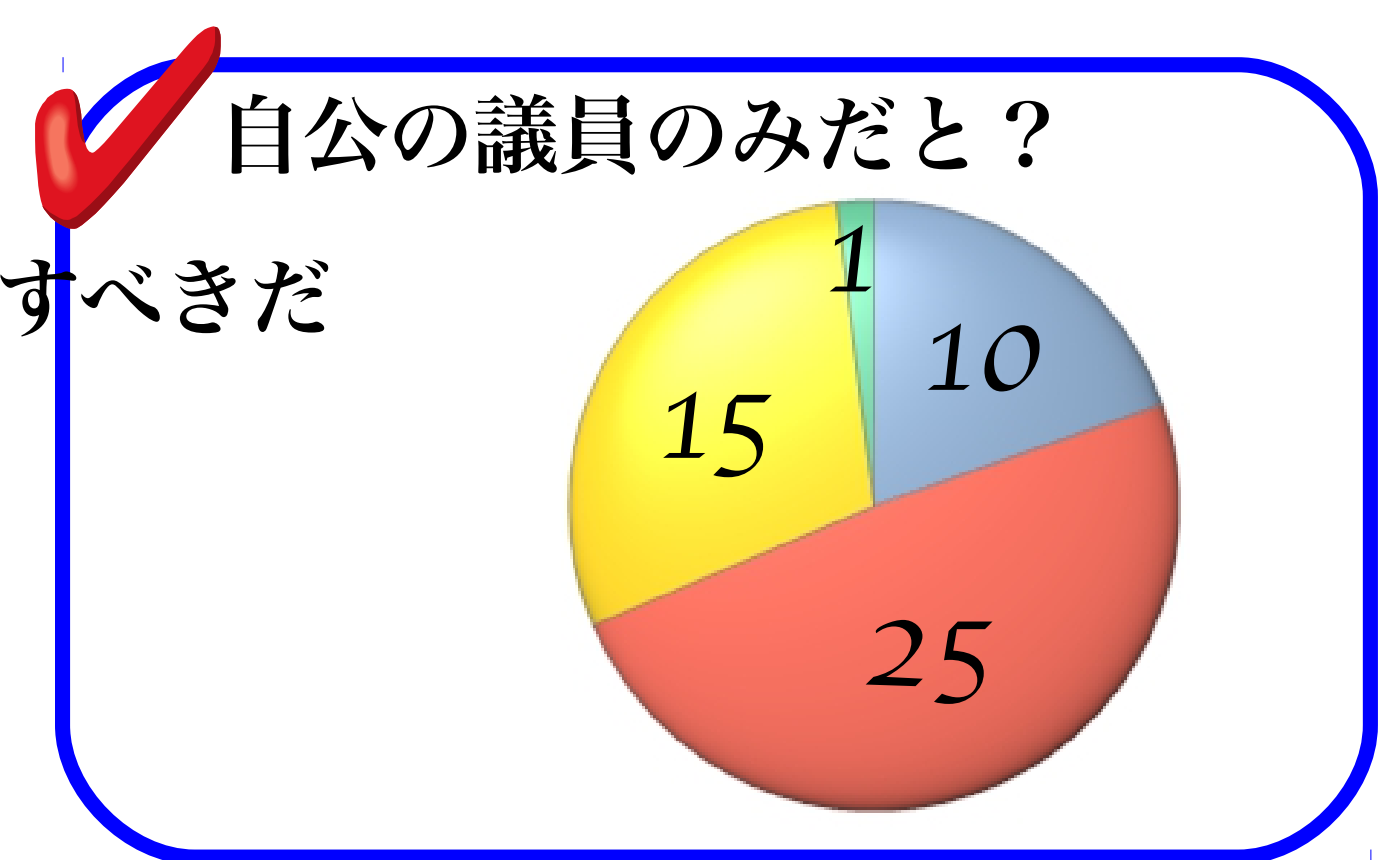
- 賛成・どちらかといえば賛成
- 反対・どちらかといえば反対
- どちらでもない
- 無回答・その他



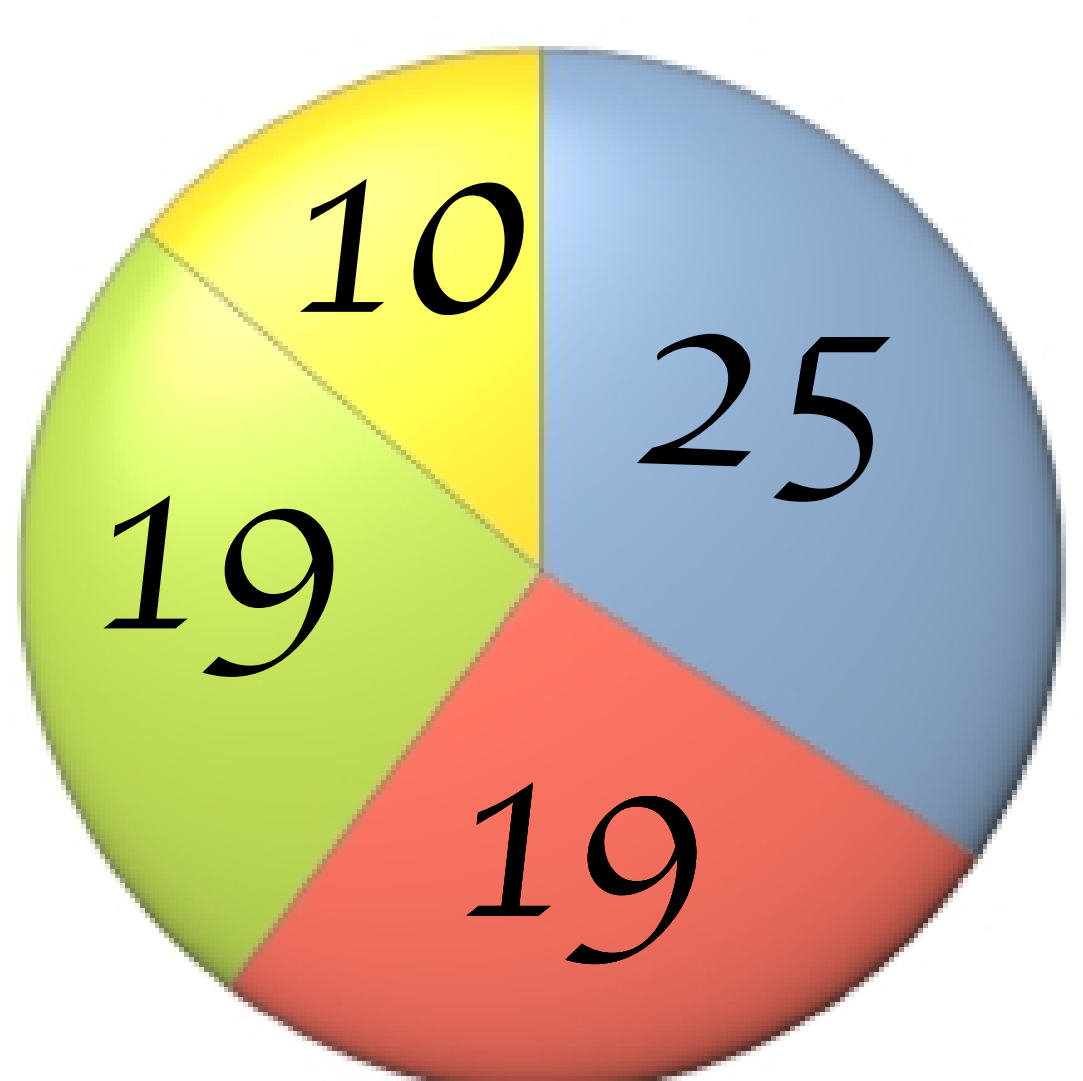
日本の原発について、あなたの考えに近いのはどれですか？ (毎日新聞社)



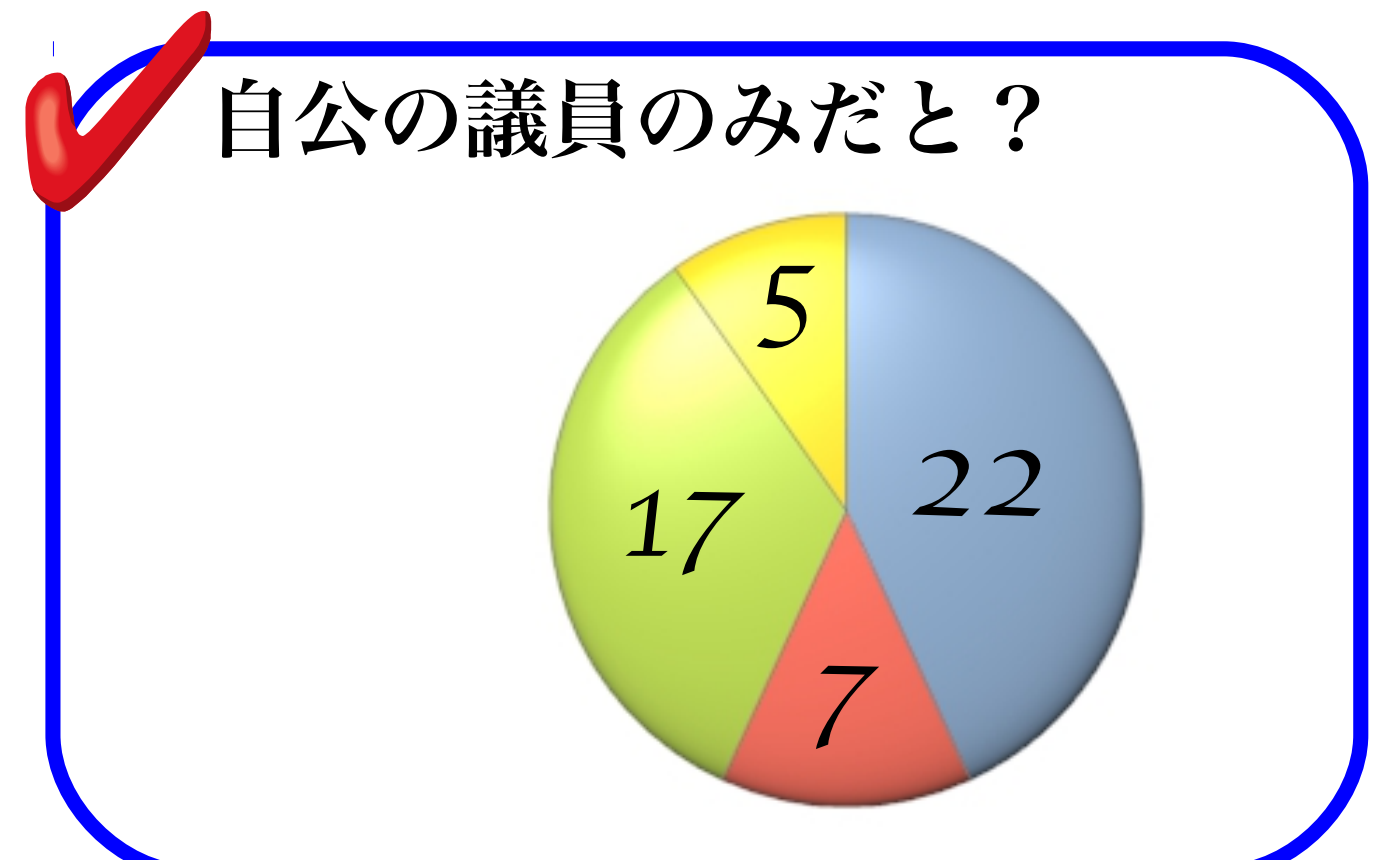
- 必要だ
- 当面は必要だが、将来は廃止すべきだ
- 必要ない
- 非該当
- 無回答



外国への原発の輸出を進めるべきだと思いますか？ (毎日新聞社)



- 進めるべきだ
- 進めるべきではない
- 非該当
- 無回答



今回当選された参議院議員(特に与党)の皆様へ

アンケート結果を見ると原発政策については結構迷っている方も多いように見受けられます。
下のようなことを言っているボスについていく必要はないと思います。

2013年1月30日衆議院本会議 安倍首相答弁

『前政権が掲げた二〇三〇年代に
原発稼働ゼロを可能とするという方針は、
具体的な根拠を伴わないものであります。
これまで国のエネルギー政策に対して協力してきた
原発立地自治体、国際社会や産業界、ひいては国民に対して、
不安や不信を与えました。
このため、前政権のエネルギー・環境戦略については
ゼロベースで見直し、エネルギーの安定供給、
エネルギーコスト低減の観点も含め、
責任あるエネルギー政策を構築してまいります。』

安倍首相が耳を傾ける相手の優先順位はこの答弁の通りでしょう。
恐らく、彼の「友達」の言う事しか耳に入っていない。

今回当選した皆様、
国民の声を聴き、自分の頭で考えて行動してほしいです。
党議拘束なんて気にする必要はないのではないのでしょうか？
皆さんの国会内での自由な発言・表決は憲法で保障されています。

日本国憲法第51条

両議院の議員は、議院で行った演説、討論又は表決について、
院外で責任を問はれない。

党の方針に沿って採決の票を投じるだけの「駒」だなんて、
悔しくないですか？

まずは、毎週金曜日、
皆さんの職場の前に集まっている人々の声に耳を傾けてみませんか？

データ出典)
<アンケート結果>
毎日新聞社 2013参院選特集ページ
<http://senkyo.mainichi.jp/2013san/>

朝日新聞社 2013参院選特集ページ
<http://www.asahi.com/senkyo/senkyo2013/>